

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003 年 10 月 28 日

2003 年 10 月 26 日現在：

引き続き乾燥気象となった。全州で殆ど降が無く、若い小麦の生育に障害が出だした。10 月 26 日に終わる 1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.9 日（前週：6.8 日）だった。Topsoil 及び Subsoil の土壌水分は共に急激に減少した。

2004 年産冬小麦は、全州の圃場の 87%にて出芽したが、これは昨年並びに 5 年平均より遅れている。その一番の理由は土壌水分不足の為である。冬に向かい亜どの圃場の小麦も降雨を必要としている。成育作柄状況は、70%が “Fair to Good” と報告されたが、Good が減少し Fair が増加した。

土壌水分：

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	48	41	11	0
Subsoil (%)	49	37	14	0

小麦進捗状況：

	2002 Crop	Last week	2002 Crop	2001 Crop
Emerged (%)	87	84	92	91

冬小麦作柄状況：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Condition(%)	7	20	40	30	3

2002 年産及び 2003 年産収穫面積及び生産量は次の通りである。

	作付面積 acres	収穫面積 acres	単位収量 bushels	収穫量 bushels
2002 年産冬小麦	2,350,000	1,650,000	22.0	36,300,000
2003 年産冬小麦*	2,600,000	2,200,000	35.0	7,700,000

*2003 年 8 月 1 日 USDA 予想。

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com